



君津リトルシニア（中学生硬式野球）について



君津シニアとは「礼儀」「元気」「勇氣」をモットーに、野球を通じ、中学生としての人間形成、礼儀と協調性、自発性を持つ選手の育成を心がけています。

君津シニアでは、高校野球、大学野球、社会人野球、プロ野球と将来の野球選手としての基礎作りと、人としての基礎作りを重点に、反復練習を中心に社会人として必要な精神力、野球選手として必要な技術力の育成に取り組んでいます。また、室内練習場を整備し、選手の一人ひとりの自主性を育てています。

少年野球を経験した子供たちは、「プロ野球選手になりたい。」「甲子園でプレーしたい。」など夢を抱いて中学生になります。甲子園出場、プロ野球選手が夢ではなく、現実に君津シニアの先輩が道を切り拓いています。

大人の勘違い？

「子供の体が小さいから」「野球が下手だから」と子供の夢を奪っていませんか？

子供の体の成長は、それぞれ異なります。身長や体重が急激に伸びる子、中学時代はさほど身長、体重は伸びなかったが、高校に入って急激に伸びる子、人それぞれです。中学生時代にどんな子供でも成長が期待できるのは精神面です。（将来のために重要な要素です）

親が大変では？

お茶当番や遠征など親が大変ではないのかとの声を聞きますが、主な遠征は、公式戦の時です。（これは中学校でも同じ）。練習試合は、基本的に、グラウンドを有しない、東京都や神奈川県ของทีมを受入れます。

お茶当番は、1～2カ月に1回の周期です。

子供の成長を3年間見守りながら、野球と一緒に楽しみませんか！！

体験を通じた社会性の育成

君津シニアでは、全国のチームとの交流があります。他では体験できないチームとの交流を通じて、野球のレベル、中学生としての成長度を認識することができます。中学時代の交流は、高校、大学、社会人になったときに素敵な『宝』として心に残ると確信しています。

選手の進路

君津シニアの卒団生は、公立高校11校、私立高校11校の22校の高校で野球を続けています。

君津シニアの卒団生は、礼儀正しく元気がある、努力を良くするなど、進学先の学校関係者から一定の評価をいただいています。

選手と保護者の希望によって、野球に関してスタッフが全力でサポートしています。

卒団生の進路

<公立>

天羽高等学校、上総高等学校、木更津高等学校、君津青葉高等学校、君津高等学校、君津商業高等学校、袖ヶ浦高等学校、館山総合高等学校、千葉工業高等学校、千葉商業高等学校、銚子商業高等学校

<私立>

市川学園高等部、関東第一高等学校（東京）、木更津総合高等学校、志学館高等部、拓殖大学紅陵高等学校、千葉英和高等学校、千葉経済大学附属高等学校、千葉国際高等学校、東海大学附属望洋高等学校、横浜高等学校（神奈川）、流通経済大学附属柏高等学校

投手の育成 ～投手を目指す選手には～

君津シニア篠原監督は、独特の投手育成理論を有し、中学生時代のトレーニング法等、強豪高校の指導者から評価は高く、OB 選手が高校進学後で高校指導者のもと引き続きその能力を伸ばしています。結果として、元横浜 DeNA ベイスターズ真下貴之（子安クラブ出身）投手（東海大望洋高）、平成 19 年夏東東京大会ベスト 4 の関東第一高等学校の甲斐俊也（坂田ジュニア出身）投手、平成 23 年秋千葉県大会で優勝投手となった千葉英和高等学校の艦居春紀（勝山ファイターズ出身）投手を輩出しています。

また、元中日ドラゴンズ投手の与田剛氏（NHK 野球解説者）や大リーグレッドソックスの松坂大輔選手の中学生時代に江戸川南シニアで指導にあたった大枝監督（現：城南ドリームボーイズ）との交流も深く、選手一人一人の個性を生かした指導にあたっています。

打撃力の育成 ～スラッガーを目指す選手には～

君津シニアの打撃は、君津シニア篠原監督が知人である元横浜 DeNA ベイスターズコーチの蓬莱氏から長年の歳月を掛けて習得したもので、導入以降、君津の選手の飛距離、打球の質が飛躍的に向上しています。

2014 年ドラフト会議において、横浜 DeNA ベイスターズから 5 位指名を受けた、国学院大学主将の山下幸輝選手（関東第一高校・子安クラブ出身）は、中学時代は、小さな体で引っ張る打撃ができませんでしたが、君津シニアで学んだ打撃と日々のたゆまぬ努力、そして精神力で『夢』を現実としました。

また、グラウンド隣接地に君津シニア専用の室内練習場を整備しており、平日は、各選手が自由に室内練習場を使用して、バッティングの向上を図ります。

毎年高校野球夏の大会終了後、大学進学のため高校 3 年生の選手達が、君津シニアの OB の紹介でバッティングを習得するため、篠原監督のもとへ足を運んでいます。

守備力の育成 ～堅実な守備を目指す選手には～

君津シニアの守備に関しては、高校野球でも数校の実力校で行われているカバーリング、戦術やきめ細かな連携プレーの指導に力を注いでいます。中学生に必要な堅実な守備（「辛抱して守り抜く守備」「堅実な守備力は攻撃のリズムを作る）」と感性を育む基礎の反復練習を重視しています。

現在、ソフトバンクホークスの金子圭輔選手（志学館高卒）は、中学時代、篠原監督の指導を受け、ショートストッパーとしての守備力を評価されプロ入りしました。また、拓大紅陵高校 渡辺 卓捕手（現君津シニアコーチ）、同 大木 貴将選手（香川オリーブガイナース）など多くの選手が現在も活躍し評価されています。

保護者の皆様へ

間もなく思春期を迎える中学 3 年間、人生の中でも最も変化があり重要な時期と言われています。君津シニアは、野球だけではなく人としての成長を同時期に育んでいます。

技術的には、選手個々の能力は、努力で芽が出て育ちます。しかし、その支えとなる人と人との関わりは、重要な栄養剤（肥料）です。

小学校からエースで 4 番だからそのまま成長するわけではありません。逆に、今、補欠で何も上手に出来なくても、本人の『努力』と『精神力』を持ってすれば、必ず芽が出て周囲から認められる選手（人間）になります。そういった個々の選手の成長を支えるのが指導者であり保護者です。

子供の「夢」・親の「夢」を君津シニアで叶えましょう。「夢から現実へ」

子供の前向きな姿勢をどうぞ応援してください。



君津シニア主な戦績

<全国大会出場>

第 14 回全国選抜大会出場 (平成 20 年) 大阪ドーム他

第 15 回全国選抜大会出場 (平成 21 年) 大阪ドーム他

<関東大会出場>

平成 18 年秋季関東大会出場

平成 19 年春季関東大会出場

平成 19 年秋季関東大会出場

平成 20 年秋季関東大会出場 (ベスト 8)



君津シニアの卒団生の高校野球での主な成績

<甲子園出場>

第 4 期生	田中 伸樹	(千葉経済大学附属高等学校)	平成 19 年	選抜大会
第 7 期生	山下 幸輝	(関東第一高等学校)	平成 22 年	選手権大会 ベスト 8
第 7 期生	田丸 貴之	(関東第一高等学校)	平成 22 年	選手権大会 ベスト 8
第 10 期生	松枝 龍世	(横浜高等学校)	平成 25 年	選抜・選手権大会
第 12 期生	長嶋 亮磨	(関東第一高等学校)	平成 26 年	選抜大会
第 12 期生	潤米 浩介	(東海大学附属望洋高等学校)	平成 26 年	選手権大会
第 12 期生	小川 大輔	(東海大学附属望洋高等学校)	平成 26 年	選手権大会
第 12 期生	杉谷 広樹	(東海大学附属望洋高等学校)	平成 26 年	選手権大会

<県大会ベスト 8 以上 (ポジション別) >

【投手】

第 4 期生	甲斐 俊也	(関東第一高等学校)	平成 19 年	夏	東東京大会ベスト 4
第 6 期生	真下 貴之	(東海大望洋高等学校)	平成 21 年	春	千葉県大会準優勝
※横浜 DeNA ベイスターズ 2010 ドラフト 4 位指名					
第 8 期生	苅込 翼	(志学館高等部)	平成 23 年	夏	千葉県大会ベスト 8
第 9 期生	鱸居 春紀	(千葉英和高等学校)	平成 23 年	秋	千葉県大会優勝
第 9 期生	小倉祐依斗	(千葉英和高等学校)	平成 23 年	秋	千葉県大会優勝

【捕手】

第 6 期生	渡邊 卓	(拓大紅陵高等学校)	平成 21 年	夏	千葉県大会準優勝
第 9 期生	石井 大和	(拓大紅陵高等学校)	平成 24 年	春	千葉県大会ベスト 4

【野手】

第 6 期生	大木 貴将	(拓大紅陵高等学校)	平成 21 年	夏	千葉県大会準優勝
第 7 期生	菊池 慎吾 主将	(銚子商業高等学校)	平成 22 年	春	千葉県大会準優勝
第 7 期生	向江 直人 主将	(千葉経済大学附属高等学校)	平成 22 年	夏	千葉県大会ベスト 8
第 7 期生	田丸 貴之	(関東第一高等学校)	平成 22 年	夏	東東京都大会優勝
第 7 期生	山下 幸輝				
※横浜 DeNA ベイスターズ 2014 ドラフト 5 位指名					
第 8 期生	山本 健吾 主将	(志学館高等部)	平成 23 年	夏	千葉県大会ベスト 8
第 8 期生	長嶋 将吾	(木更津総合高等学校)	平成 22 年	秋	千葉県大会優勝
第 8 期生	鈴木翔太郎				

第9期生	角田 寅泰	(拓大紅陵高等学校)	平成24年 春	千葉県大会ベスト4
第10期生	山口 拓斗	(拓大紅陵高等学校)	平成25年 夏	千葉県大会ベスト8
第10期生	小笠原 將			
第10期生	佐藤 勇貴			
第11期生	渡 恭一	(千葉経済大学附属高等学校)	平成25年 秋	千葉県大会準優勝
第11期生	中尾 優大		平成26年 春	千葉県大会ベスト4
第12期生	永田 大貴	(千葉経済大学附属高等学校)	平成25年 秋	千葉県大会準優勝
			平成26年 春	千葉県大会ベスト4
第12期生	小川 大輔	(東海大学附属望洋高等学校)	平成25年 春	関東大会ベスト4
第12期生	潤米 浩介	} 主将	平成26年 春	千葉県大会ベスト8
第12期生	杉谷 広樹		平成26年 夏	千葉県大会優勝
第12期生	丸 達也	(拓大紅陵高等学校)	平成25年 夏	千葉県大会ベスト8
第12期生	長嶋 亮磨	(関東第一高等学校)	平成25年 秋	東京都大会優勝
			平成26年 春	東京都大会準優勝
			平成26年 夏	東京都大会ベスト4